

ブラジル航技大と県内2大学

学術交流促進で覚書

川勝知事は、ブラジルへの県公式訪問団の成果として、ブラジル航空技術大(IITA)と県内2大学(静岡理工科大、東海大)の代表者が大学間交流に関する覚書などを交わしたことを報告した。覚

書は航空宇宙工学やその関連分野で学術交流

を促進していくとの内容。具体的な交流項目は今後、大学間で調整を進め、県も側面支援する。

県によると、IITAは航空機産業に高い技術を持った人材を輩出し、ブラジルの航空機メーカー・エンブラエル社とも関係が深い。本県側には航空機産業に関わる人材育成を図

る狙いがある。

知事は「画期的な共同作業が始まることを大変喜んで」と歓迎した。学術研究の拠点として、静岡空港の敷地内に航空博物館と教育研究の機能を持つ施設を設ける構想を改めて示し、「皆さんの意見を入れながらつくり上げていくのが課題」と述べた。